

政務活動（参加・**実施**）報告書

令和 5年 6月 12日

会 派 公明党議員団参加者 神山 哲太郎

政務活動先 (目的地)	帯広市議会 帯広市西5条南7丁目1番地 帯広市役所議会棟2F 議会事務局				
開催団体等					
政務活動期間	令和5年6月8日(木)			1 日間	
政務活動項目 (名称等)	①移住・定住について ②ふるさと納税について				
政務活動参加者	神山哲太郎	池田謙次	大野正和		
					計 3名
全体参加者数					
政務活動の目的・結果等の概要・所見	<p>《目的》 本市におきまして現在および今後、人口減少に伴いましての影響を考慮し、移住・定住対策を更に進めることにより魅力のあるとまこまい、選ばれるまちにならなければならない、様々な手法他を調査させていただく事を目的とします。</p> <p>更には、ふるさと納税につきましても同様でとまこまいの魅力を発信し提案型のふるさと納税を調査し、本市に何ができるのかを考えるために調査させていただきます。</p> <p>《移住・定住について》 ○令和3年1月に帯広市のホームページを更新されましたが、そのトップページに（市民の方）（観光の方）（移住ふるさと納税）のページに直接入る表示をつけるようにしたそうです。これはそれだけ全市で力を入れていて、必要性があったとの事でした。</p> <p>○特に若い子育て世代の移住が多いとの事で調査させていただきましたが、数的現状は増えているわけではなく減ってはいない、何とか現状維持での事でしたが、すごい事だと思いました。</p> <p>たくさんの施策の一つの例として、移住されてきた子育て世代が集まりグループワークをアウトドアで行い、開放的な場所で情報交換や困っている事など話し合える場所を交流会として行い、それらを定期的に行っているそうです。</p> <p>参加者は安心感につながり、次に来る人へのアドバイスもできて</p>				

好循環になっているとの事でした。(直近の交流会の参加人数は21名)

○広報活動や口コミも含めて若者に優しく住みやすい街との知名度が上がってきた。証として9か月の間に133件の問い合わせがあり、30代40代からの問い合わせや実際移住する方が多い結果となっております。

○若者だけが多いのかと言いますとそうではなく、60代以上も一定数いるとの事でした。それは第二の人生を過ごすのに気候や環境が良いとの理由が多かったとの事でした。アナウンスはここに力を入れている様子でした。

○移住案内パンフレットを作ることにより案内がしやすく、効果の手ごたえがあるということです。内容は、市の基本情報はもちろん、衣食住の良い所の紹介、観光スポット他自慢できることの紹介、移住定住をされた方々の体験談の紹介、起業の仕方、子育て支援や暮らしに関する事、年代別の生活費シミュレーションなどを紹介されており、移住・定住を考える方々にとってはかなり有益な情報だと思えました。

○役所内に移住ワンストップ窓口が設置されており、問い合わせされる方の情報収集をはかることができ次の策を講じるための情報を得られやすい所がメリットですし、やはり移住定住を考える方々に対しても、移住後の相談窓口にもなり誰もが安心感を得ることができる場所となっております。

《ふるさと納税について》

○帯広市ではふるさと納税を「おびひろ応援寄付金」と名付け呼んでおります。感謝の気持ちを前面に出すのが大きく見る事が出来ました。

○寄付申請時に寄付金の使い方を選ぶのに、苫小牧市は大きく4項目、帯広市は16項目、多くの項目を作るのにメリットとデメリットがあるとはいえ、寄付を頂くのに、具体的にこう使われていると実感するような仕組みは絶対的に必要だと思います。






○特定寄付金と性質が違い、返礼品を目当てとする寄付がゼロではないため、性質上使い道の選択が多ければ多いほうが良いという事が実感できました。

○2019年までは企画担当部署が業務を担当しておりましたが、2020年からは観光交流課に移行された。返礼品などで観光業界が関連することが多かったため点と点が線につながったようなイメージがありましたとの事でした。

○返礼品の種類や数を増やすための取り組みとして、物産協会などと常に情報交換をし、アプローチを行政側からかける事を絶やさないとの事でした。

○御礼はがきを5種類作って返礼品に入れる取組みをされております。寄付者がSNSで投稿したり、コレクション的になっております。

	<p>《所感》</p> <p>移住定住についてもふるさと納税についても観光関連を担当する部署が全責任を担い推進しているという事です。</p> <p>この各所の相乗効果が大きく動き出した要因だとお聞きしました。どちらにしても相談体制がしっかりと確立されておりました。</p> <p>帯広市の食料自給率が1100%という事でそれらを前面に出して大きく地の利を生かされていると思いました。</p> <p>本市におきましても地の利をしっかりと掌握し生かせる体制を確立できる提案をできればとおもいました。</p>	
	<p>資料名（会派保管）</p>	<p>「帯広市紹介パンフレット」</p> <p>「帯広市の概要」</p> <p>「帯広市移住案内パンフレット」</p> <p>「帯広市における移住促進・ふるさと納税の取り組み」</p>

<p>会派内回覧</p>								
--------------	---	---	---	---	--	--	--	--